

国語科	「かんじさがし」「かたかなさがし」	
1.学年	実施の時期 実践者	平成15年11・12月 鳴瀬町立小野小学校 三浦 美穂

◎ 実施の概要

<単元の流れ>

◆ かんじのはなし(5時間)

- ①教材文を読んで漢字の由来方を調べる。(2時間)
- ②漢字の書き方を理解して、練習する。(2時間)
- ③習った漢字で短文を作り、読んだり書いたりする。
- ④新聞で習った漢字を探す。

◆ かたかな(3時間)

- ①片仮名の長音の書き方は平仮名と違うことを知り、「ー」を使って練習して正しく書き、「ン・ソ」「ツ・シ」の形に注意する。
- ②片仮名の促音、拗音の書き方を知り、練習して正しく書き、長音、促音、拗音の言葉作りゲームをする。
- ③新聞で片仮名を探す。

◆ 日づけとよう日(3時間)

- ①漢数字の読み方と日付の読み方を比べて、日付の読み方を理解してノートに書き、日付歌を楽しく唱える。自分の印象的な日を思い出して書く。
- ②曜日歌の読み方と書き方を理解しノートに書いて、曜日歌を唱える。
- ③新聞で日付や曜日を探す。

◆新聞を活用した授業

「新聞で漢字を探そう」「かたかな集め」「日づけとよう日を見つけよう」

◆学習の流れ

- ・新聞の中から、学習した言葉(漢字・片仮名・日付と曜日)をできるだけ多く探そうと投げかけ、「言葉を探す→探した言葉を発表する→探した言葉と関連する言葉を発表する(ゲーム形式)」というようにし、新聞に興味・関心を持つ。
- ・一人に一枚新聞を配布し、赤鉛筆でチェックをしながら言葉を探す。
- ・探した記事を切り抜いてノートに貼り、探した言葉を発表する。(何個探せたかゲームをする)

◎ 実践を通して

- ・新聞の中には、片仮名が多く使われており、「これ、知ってるよ」「ここにもあるよ」と、見つける度に喜びの声を上げながら、夢中になって探していた。
- ・片仮名の中でも、読み方や書き方が間違いやすい「ツ・シ」、「ソ・ン」などの文字は、特に気を付けながら探している姿が見られた。
- ・「新聞を読んだみたい気分だよ」「新聞って楽しいな」など、活動を楽しく振り返る児童が多かった。切り取った記事はノートに貼り教室に掲示した。活動後は、互いのノートを見ながら読み合う姿が見られた。
- ・文字が小さかったり、難しい言葉が並んでいたりすると、途中で活動を投げ出してしまふことがあった。文字の大きい記事や児童の知っている記事、漫画やイラストが載っている記事など、1年生の実態に合わせて新聞選ぶことも必要だと思った。